



<http://www.camp-k.com>

SCSK株式会社 法務・総務・広報・CSRグループ CSR推進部

CAMPスタジオ 〒104-6241 東京都中央区晴海1-8-12 晴海アイランド トリトンスクエアオフィスタワーZ棟11階 Phone (03)5144-6400
豊洲本社 〒135-8110 東京都江東区豊洲3-2-20 豊洲フロント Phone (03)5166-2500

2017.03-3000



CAMPは、こどもたちの「共に創る力」を育む
SCSKグループの社会貢献活動として、
2001年4月にスタートしました。

CAMPのワークショップを通して、いろいろな
表現方法があるということを知り、グループでの
共創活動が、多様性を受け入れ誰かと一緒に
考えること、創ることの楽しさに気づきかけ
となり、自らの可能性を広げていって欲しいと
考えています。

近年、環境問題や人種・宗教問題など世界規模
の問題が、身近なものとして感じられるよう
になりました。この複雑で解決困難な課題は、
こどもたちにも引き継がれていくものであり
ます。私たちはグローバル社会の一員として、
世界中のこどもたちの健全な成長に少しでも
貢献し、夢ある未来を拓いていかなければなら
ないと考えます。

CAMPは多くの社員がボランティアとして
携わり、参加する社員にとっても、社会との関わり
を持ち、こどもたちと共に自らも学びと気づき
を得る有意義な機会となっています。

私たちは、こどもたちがその無限の可能性を
開花させ、豊かで持続可能な未来社会へと先導
してくれることを期待しています。

どうぞ、みなさまのご理解とご支援をお願いいた
します。

SCSK株式会社
代表取締役 社長執行役員

谷原 徹

CONCEPT

CAMPワークショップのコンセプト



CAMP ワークショップの 5つの要素

創作体験や共同作業、
作品の発表を通じて、
こどもたちが楽しみながら
自分に合った表現方法を見つけ、
コミュニケーションの輪を
ひろげていく、
それがCAMPのワークショップです。

つくる

過程・試行錯誤・
クリエイティビティ

つくる過程での試行錯誤は、時には失敗や苦しみもあります。それらはすべて、こどもたちの創造力へとつながっていきます。

つながる

出会い・共有・交換

ワークショップは出会いの場でもあります。参加するすべての人が、時間・空間を共有し、意見やアイデアを交換しあうことで、お互いにつながっています。

CAMPは、ワークショップでこどもたちが体験するプロセス、「考える」「つくる」「つながる」「発表する」「ふりかえる」を大切にしています。

そして、それらのプロセスにおいて、こどもたちが主体的に楽しんで活動できることがなによりも大切だと考えています。

考える

好奇心・探究・発見

考えることは楽しいことです。わくわく・ときどきする好奇心を膨らませ、探究と発見を繰り返していきます。

ふりかえる

きっかけ・成長・再構成

ふりかえることで次へのきっかけと成長につながります。体験したことや感じたことを再構成することで、改めて心に刻んでいきます。

発表する

客観視・理解・伝達

伝えることは、相手と自分を理解する機会となります。他の人に想いや考えを伝えることで、客観的に自分自身も見つめ直します。



ACTIVITIES

活動紹介



CAMPは、
こどもたちにとって
よりよいワークショップを
考えつづけるとともに、
全国へワークショップの輪を
ひろげることにも
取り組んでいます。

ワークショップ開発

CAMPスタジオを開発拠点とし、オリジナルの他、国内外のアーティストや研究者、企業・団体と共同でワークショップを開発しています。ワークショップは実践を繰り返し、テーマはもちろん、空間づくりや時間配分、素材と道具、ファシリテーション方法など、さまざまな視点から検証し改良を加えています。



ワークショップ開催

CAMPスタジオでの定期的な開催の他、各地のSCSKグループ会社・拠点で社員有志と共に継続的にワークショップを開催しています。そして、その地域のミュージアムや大学、企業・団体とのコラボレーションの輪も広がっています。



研究

ワークショップの開発・評価やファシリテーターの養成方法、ワークショップにまつわる知的財産の尊重と活用など、こどもたちが良質なワークショップをいつでも体験できる社会の実現を目指して、調査研究活動にも積極的に取り組んでいます。



ファシリテーター育成

ワークショップの運営において最も重要な「ファシリテーター」の育成にも力を入れています。初めての人にも楽しく安心してファシリテーターとして活躍してもらえるよう、CAMPのノウハウとマインドを体験的に習得できる研修会を開催しています。



ワークショップ普及

CAMPワークショップの運営ノウハウをつめこんだキットとファシリテーター育成プログラムをパッケージ化し、CAMPの活動趣旨に賛同してくださる全国のミュージアムや学校、各種団体などにご提供しています。



PROCESS

CAMPワークショップの流れ



1 イントロダクション

参加者全員で輪になって、こんにちは！
ワークショップでどんなことをするか
説明を聞いた
あとは、元気に
自己紹介します。



2 グループ分け

ワークショップでは、グループで作品を
つくります。ちょっとドキドキ、新しいとも
だちができる
瞬間です。



3 ガイダンス

制作に使う素材や 道具などの、使い方
の説明を聞きます。



4 制作

アイデアを出しあい協力しながら
グループで1つの作品をつくります。



5 レポート作成

制作をふりかえりながら、作品の名前や
説明、がんばったところや工夫したところ
を書きます。



6 発表会

グループごとに作品を発表します。
他のグループの作品にも興味津々。
こどもたちから
の質問も飛び
かいます。



7 鑑賞会

他のグループの作品を鑑賞しながら、
付せんに思いの感想を書いていき
ます。



8 リフレクション

ワークショップ中の 様子をスライド
ショーで見ながら 一日をふりかえり
ます。



9 感想

ワークショップで体験したこと、楽し
かったことなど、感想を書きます。



10 おしまい

最後にもう一度輪になって、おわりのあい
さつをします。

ありがとう
ございました！
また来てね。





WORKSHOP

ワークショップ紹介

クリケット ワークショップ

乾電池式の小さなコンピューター「クリケット」と身の周りの素材を使って、動くおもちゃをつくるワークショップです。
2人1組で互いに協力しながら、またパソコンをひとつの道具として活用しながら、自由な発想を形にしていきます。
(サポート:MITメディアラボ)



くろう・ しょくぶつ・図鑑 ワークショップ

見たこともないふしぎな種をきっかけにして、未知の植物を育てるワークショップです。
ふしぎな種を植木鉢に植えたら、グループでアイディア出し、模型づくりを進めながら、植物の育て方や特徴も考えます。
最後はくろう・しょくぶつ・図鑑の1ページとしてまとめます。



発明 ワークショップ

身の周りのいろいろな動物や植物の仕組みをヒントにして、ちょっと先の未来に「こんなあったらいいな」という発明品を考えます。
その発明品はどんな場所でどんな人が使うのか、イメージを膨らませながら模型を制作し、発表会では使い方を実演します。
(協力:NPO法人日本創造力開発センター)



ナリグラム ワークショップ

いろいろなものを叩いたり振ったり、人の声や水の流れる音、エレベーターの音など自分たちの気に入った音をパソコンに取り込み、「ナリグラムソフト」を使って、切ったり、つなげたり、交換したりして、新しい音の流れをプログラミングします。
(共同開発:東京大学大学院情報学環 山内研究室、システムアーティスト 安斎利洋氏)



WORKSHOP

ワークショップ紹介



のぞき 冒険隊 ワークショップ

どんな世界に行ってみたい？未知の世界へ出かける冒険隊になりきって、行ってみたい世界を考え、その冒険の様子を「のぞきボックス」の中につくります。
箱の中にひろがる世界をさまざまな角度からのぞき見ることで、こどもたちの好奇心と想像力を刺激します。



かみかみ ハンズ ワークショップ

「紙」だけを使うワークショップです。
ちぎったり、丸めたり、形や手ざわりを確かめながら、ふしぎな「てて島」にすむ生き物の手を考えます。
手ぶくろ式の生き物の手が完成したら、みんなで握手会！
手の感覚を大切に、紙という素材を楽しむワークショップです。



デジカみしばい ワークショップ

2つのチームが、交代で1コマずつ、全部で4コマのお話をつくります。
お話に合った場面を人形や小道具などを組み合わせて写真を撮ったら、デジカみしばいの完成です。



0と1をつたえる ワークショップ

機械はどうやって情報を伝えているんだろう？！
コンピューターの「つたえる」仕組み（2進法）を体験します。
音で、光で、「つたえる」装置をつくります。
(共同開発:ITRC、サイバー関西プロジェクト、大阪電気通信大学)



その他

- ぼんやり灯ワークショップ
- スクラッチワークショップ
- かぞくのひびけワークショップ
- こよみワークショップ
- すいそく・かいぞく・図鑑ワークショップ
- など



Better Future for Children

-Message from CAMP-

地球がどんどん小さくなっている

いろいろな国があり、言葉があり、考え方が異なる
そんな場所や人とも知り合える時代がここにある

人と伝え合うことの楽しさを

人とともにつくることの楽しさを

たくさん体験できる機会をつくっていききたい

言葉だけでなく、絵でもいい

音楽でも、写真でもいい、粘土でも、ロボットでも、
なにかひとつでも人とつながる手段を見つけてほしい

CAMPは子どもたちと一緒に、

その輪を世界中に広げていくはじまりです

CAMPスタジオ

CAMPワークショップの開発拠点『CAMPスタジオ』を2014年春、SCSK晴海オフィス内に開設しました。約150㎡のオープンスペースにワークショップ用の機材や素材・道具を備えています。

CAMPこどもワークショップを定期開催している他、コラボレーターと新しいプログラムの共同開発やオリジナルワークショップの企画。また、CAMPファシリテーター研修会、関連イベントやセミナーなどを実施しています。

見学について

一般開放はしていません。

教育・研究機関の方で見学をご希望の場合は必ず事前にお問い合わせください。